

～紺碧の海と花の香り、アートを訪ねて～ 2日間

熱海梅園 梅まつりと糸川の桜散歩、MOA美術館

熱海梅園



イメージ写真提供：熱海市観光協会

イメージ：熱海梅園

58品種・464本の紅白の梅が植えられ、早いものは12月中旬頃に開花する。毎年1月上旬～3月上旬には梅まつりが開催され早咲きの梅から遅咲きの梅まで楽しむ事が出来ます。梅の香りと熱海の潮の香を胸いっぱい吸い込んで、早い春を感じてみませんか。



イメージ：来宮神社(きのみやじんじや)

来宮神社

幹を1周まわると寿命が1年延びるといふ樹齢2100年超の大楠が有名。本殿は来福、縁起の神様。恋愛成就や祭酒祈禱のご利益を求め参拝者が後を絶ちません。

糸川の桜

あたま桜は、1871年(明治4年)頃に、イタリア人によって、レモン・ナツメヤシとともに熱海にもたらされた桜。日本で最も早咲きの桜といわれ、毎年1月から2月に見頃を迎える「あたま桜」。糸川の遊歩道沿いに立ち並ぶ約60本の桜の下で、一足早い花見を楽しむことができます。



イメージ写真提供：熱海市観光協会

イメージ：糸川の桜

熱海銀座

海や温泉で有名な静岡県熱海市。今は温泉リゾートのイメージが強い熱海ですが、かつてのにぎわいの中心は「熱海銀座」でした。古き良き昭和の香り漂う老舗から、新しくおしゃれなカフェまで、たくさんのお店が軒を連ねる熱海銀座をぶらり散歩。熱海の源泉「熱海七湯」モニュメントの一部も、この銀座通り界隈でご覧いただけます。

イメージ：七湯 河原湯



ホテルリゾートピア熱海

全てのお部屋と温泉大浴場は相模湾に面したオーシャンビュー。ご夕食は熱海産直、季節の食材でお腹も心も満たされます。お食事と良質の温泉でゆっくりとお寛ぎ下さい。



外観



イメージ：MOA美術館

MOA美術館

相模湾や伊豆半島を一望、景観美も堪能できる美術館。所蔵美術品は、国宝3点、重要文化財66点を含む約3500点で、国内外の逸品を鑑賞できます。ランチは、地産地消・自然農法野菜を中心に調理した優しい味の和食をお召し上がりください。

旅行期間	2022年1月25日(火)～26日(水)		
旅行代金	2名様1室利用 (お一人様) ※1名様1室利用追加代金6,500円	57,000円	募集人員 18名様 (最少催行人員14名様)

1	東京駅8:27頃→(こだま)→熱海駅9:12頃→熱海梅園梅まつり→来宮神社→MOA美術館(ご昼食と館内鑑賞)→ホテルチェックイン16:30頃 ホテルにてご夕食 食事:朝×・昼○・夕○【ホテルリゾートピア熱海(泊)】
2	ホテル9:00頃→糸川の桜まつり→熱海銀座→熱海駅13:05頃→(ひかり)→東京駅13:42頃 食事:朝○・昼×・夕×

- 添乗員/1日目東京駅から2日目東京駅まで同行致します。
- 食事/朝食1回、昼食1回、夕食1回
- 宿泊/ホテルリゾートピア熱海(和洋室)
- 交通機関/JR東海道新幹線(普通指定)、大型または中型貸切バス(運行バス会社:新富士観光バス)

※開花時期は例年の開花時期を参考にしています。

※気象状況、交通状況によりコースを変更する場合がございます。

※品川・新横浜駅ご乗車の場合は、お申し込み時にお知らせ下さい。